

ワイヤレスノイズキャンセリング ステレオヘッドセット

使用上のご注意／主な仕様

インターネット上で使いたい(ヘルプガイド)などのサポート情報が閲覧できます。閲覧は無料ですが通信料は通信契約に依存します。

<http://rd1.sony.net/help/mdr/wh1000xm3/ja/>



©2018 Sony Corporation
Printed in Malaysia

WH-1000XM3

マニュアルについて

- 取扱説明書：本機の基本操作について記載しています。
- 使用上のご注意／主な仕様(本書)：ご使用の前にお読みください。主な仕様や、ご注意などを記載しています。
- ヘルプガイド：さらに詳しい操作説明を記載しています。パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

！警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。本書と「取扱説明書」、「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いを示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっているか、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- 電源を切る
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

△危険

下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。



湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、火のそば・直射日光のあたるところ・車内など高温の場所で使用・保管・放置しない



付属以外のUSB Type-Cケーブルを使わない
充電するときは、必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



火の中に入れない



分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



△警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。



道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機および携帯電話は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 運転中に携帯電話の画面を注視しないでください。



周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。
また、本機は周囲の音を低減するノイズキャンセリング機能がありますので、警告音なども聞こえにくくなります。
踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こないと危険な場所では使わないでください。

電池が漏液したり、異臭がする時には直ちに火気より遠ざける



一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄しない

火災や破裂の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

本機は防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合ご注意ください。

- 洗面所などの使用
水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
- 雨や雪、湿度の多い場所での使用
- 汗をかく状況での使用
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れるなど水濡れの原因となる場合があります。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



電池の外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない



△注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となることがあります。



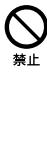
本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ベースメーカー や 医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。



本機を医療機器の近くで使わない

本機は磁石を使用しているため、心臓ベースメーカー や 除細動器、水頭症治療用可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本機をこれらの医療機器、および医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの機器を使用されていてご心配な方は、ご使用前に担当の医師にご相談ください。



本機を磁気カードに近づけない

本機は磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
本機につないでいるBluetooth機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。音量は徐々に上げましょう。



通電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



かゆみなど違和感があったら使わない

本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となることがあります。



本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。



△危険 下記の注意事項を守らないと液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明の原因となります。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

本機を廃棄するときは



機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は裏面に記載されています。)

静電気に関するご注意

人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じることがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

無線機器について

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器と同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1/XX4

FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10 m以下です。XX4はその他の変調方式を採用し、与干渉距離は約40 m以下です。

無線機器の身体密着に関するご注意

本機と接続する携帯電話や無線機器の身体への装着に関して、詳しくは接続する機器の取扱説明書をご確認ください。

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。該当ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。

ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<http://rd1.sony.net/help/mdr/sl/18/>



使用上のご注意

BLUETOOTH®通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10m程度までの距離で通信できますが、障害物（人、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
- 本機とBluetooth機器の間に人体がある場合 この場合は、本機のアンテナと同じ方向にBluetooth機器を置くと改善されます。
- 本機とBluetooth機器の間に金属、壁などの障害物がある場合 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- 屋外では室内に比べて壁、床、天井などの電波の反射が少ないので、室内よりも音の途切れなどがおこりやすくなります。
- 本機のアンテナは、下記の図の点線で示した部分に内蔵されています。接続するBluetooth機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようにすることで、Bluetooth通信の感度は向上します。



- 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雜音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の策を行ってください。

- 本機とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところに行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
- 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。
- 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本機側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行なう際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。

- 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雜音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

音楽再生中に音が途切れやすいときは

- 本機の音質モードを接続優先に変更することにより改善される場合があります。設定方法についてはヘルプガイドをご確認ください。
- 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更や、ワイヤレス再生モードをSBC固定に変更することにより改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご覧ください。
- スマートフォンで音楽を聴いているときは、不要なアプリをシャットダウンしたり、スマートフォンを再起動すると改善される場合があります。

スマートフォンやパソコンの通話用アプリの使用について

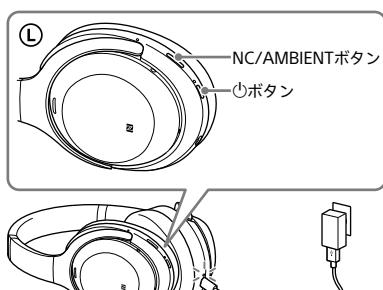
- 本機は通常の電話着信のみ対応しています。スマートフォンやパソコンの通話用アプリには対応しておりません。

充電について

- 本機はUSB充電専用です。本機の充電を行うには、USB端子のあるパソコンまたはUSB ACアダプターが必要です。
- 必ず付属のUSB Type-Cケーブルをご使用ください。
- 充電中は電源が入らず、Bluetooth、ノイズキャンセリング機能は使用できなくなります。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行なってください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

本機の動作がおかしいときは

- 本機をリセットしてください。
充電中に△とNC/AMBIENTボタンを同時に押します。機器登録情報は削除されません。



- リセットをしても症状が改善されないときは、本機を初期化してください。
USB Type-Cケーブルを本機から抜き電源を切ってから、△とNC/AMBIENTボタンを同時に7秒以上押し続けます。ランプ（青）が4回点滅し、工場出荷時の設定に戻ります。すべての機器登録情報が削除されます。
- 本機を初期化した場合には、iPhoneやパソコンに接続できなくなる場合がありますので、iPhoneやパソコン側の本機の登録をいったん削除して機器登録をしなおしてください。

ノイズキャンセリング機能について

- 外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。
- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じられる場合があります。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本機を離してください。
- 本機の装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、本機を装着し直してください。
- 本機のマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリングや外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、マイク部から手などを離してください。



装着に関するご注意

- 本機は密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、本機を耳に押しつけると、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

その他のご注意

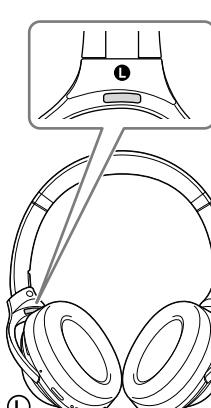
- 本機は精密機器のため落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- タッチセンサーコントロールパネルにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- 本機を折りたたむ際に指を挟まないようにご注意ください。
- 有線接続時は必ず付属のヘッドホンケーブルを使用してプラグをしっかりと挿してください。
- 携帯電話でご使用の際電波状況、場所の影響により、ご使用でできない場合があります。
- ドライバユニットに息を吹きかけないでください。
- 本機は力を加えたまま長時間放置すると、変形するおそれがあります。保管するときは、力を加えないようにしてください。
- 本機を使用中に気分が悪くなかった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーパッドは長期の使用・保存により破損したり劣化する恐れがあります。

お手入れのしかた

- 機器の外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

消耗品：イヤーパッド
新しいものと交換するときは、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

シリアルナンバーラベルの位置



主な仕様

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

電源：

DC 3.7 V：内蔵充電式リチウムイオン電池

許容動作温度：

0 °C ~ 40 °C

電池持続時間：

Bluetooth接続

連続音楽再生：最大30時間（NC ON）、最大22時間（アンビエントサウンドモード）、最大38時間（NC OFF）
連続通話：最大24時間（NC ON）、最大18時間（アンビエントサウンドモード）、最大30時間（NC OFF）
連続待ち受け：最大30時間（NC ON）、最大22時間（アンビエントサウンドモード）、最大200時間（NC OFF）

有線接続 NC ON 時：最大36時間

注：コーデックや使用条件などにより短くなる場合があります。

充電時間：

約3時間

（10分充電時 約5時間音楽再生可能）

注：使用条件により変わる場合があります。

充電温度：

5 °C ~ 35 °C

質量：

約255 g

レシーバー部

形式：

密閉ダイナミック

ドライバユニット：

40 mm

インピーダンス：

47 Ω (1 kHzにて) (有線接続時、POWER ON時)

16 Ω (1 kHzにて) (有線接続時、POWER OFF時)

音圧感度：

104 dB/mW (有線接続時、POWER ON時)

101 dB/mW (有線接続時、POWER OFF時)

再生周波数帯域：

4 Hz ~ 40,000 Hz (JEITA¹⁾)

(有線接続、POWER ON時)

マイク部

形式：

MEMS

指向性：

全指向性

有効周波数帯域：

50 Hz ~ 8,000 Hz

同梱物：

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット(1)

USB Type-CTMケーブル(USB-A - USB-CTM) (約20 cm) (1)

ヘッドホンケーブル(約1.2 m) (1)

キャリングケース(1)

航空機用プラグアダプター (1)²⁾

1) JEITA規格による測定値です。

2) 機内のエンターテインメントサービスによっては、対応できない場合があります。

通信仕様

通信方式：

Bluetooth標準規格 Ver. 4.2

出力：

Bluetooth標準規格 Power Class 2

最大通信距離：

見通し距離 約10 m¹⁾

使用周波数帯域：

2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

対応Bluetoothプロファイル²⁾：

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

HFP (Hands-free Profile)

HSP (Headset Profile)

対応コーデック³⁾：

SBC⁴⁾

AAC⁵⁾

LDACTM

Qualcomm[®] aptX[™] audio

aptX HD

対応コンテンツ保護：

SCMS-T方式

伝送帯域(A2DP)：

20 Hz ~ 40,000 Hz (LDAC 96kHzサンプリング、990kbps時)

1) 通信距離は日安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

2) Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したもののです。

3) 音声圧縮変換方式のこと

4) Subband Codecの略

5) Advanced Audio Codingの略

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター

AC-UD20 (別売り)

市販のUSB ACアダプター

出力電流1.5 A以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター

パソコン

※ 2018年8月 現在

以下のOSが標準インストールされており、USB端子が標準装備されたパソコン

・下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

・日本語版標準インストールのみ。

・自作パソコンは動作保証対象外です。

—Windows[®]をお使いの場合

Windows[®] 10 Home / Windows[®] 10 Pro

Windows[®] 8.1 / Windows[®] 8.1 Pro

Windows[®] 8 / Windows[®] 8 Pro

Windows[®] 7 Starter / Home Premium / Professional / Ultimate